



令和元年度  
第13期  
担い手育成推進  
委員会  
事務局 発行

# 担い手通信 <第五号>

第13期地域福祉の担い手育成推進委員会  
全5回の講座が終わりました！

第13期担い手育成推進委員、  
23名が修了に

地域活動を牽引する人の育成を目的に、平成18年より開始した担い手育成推進委員会も今年で13年目を迎え、修了者は280名を超えました。



〈第一回〉では市社協職員が茅ヶ崎市の地域福祉の取り組みを説明しました。

〈第二回〉では一般社団法人コミュニティネットハピネスの土屋先生をお招きし、『地域活動の担う役割』についてご講義いただきました。

〈第三回〉では地域のアセスメントをしてわかった地域財産をカテゴリー別に分類。「こんなことやってみたい」ということをグループで話し合いました。

〈第四回〉では地域包括支援センターの横濱氏とハピネス茅ヶ崎の古知屋氏から「おとな食堂」についてお話しいただきました。

## 『これまで学んだこと』を振り返る

お天気グラフで

理解度を振り返る

第一回～第四回までの概要とポイントの振り返りをしながら、当日配布したお天気グラフに各回の「自分の思う理解度」を晴れ（わかった）・曇り（まあまあ分かった）・雨（わからなかった）に分類して記入しました。集計結果、はじめは何をする委員会なのか分からなかったが、回を重ねる毎に、理解度が増したという方が多くおられました。修了後、連絡先を交換している方もおり、「とても前向きな話ができる仲間ができて心強い！」という声が聞こえました。



【ワークシート】

地域福祉の担い手育成推進委員会

### これからに向けて ～今年度の学習と地区を知ること（アセスメント）を通して～

これまで「自分の暮らす地区を改めて見ること・知ること」を中心に学んできました。最後に、改めて自分の中に残ったことを振り返り、それを地区の仲間と共有して、ともに活用するヒントにしていけたらと思います。



\*自分でそれぞれの項目を埋め、グループで共有します。

「今年度の学習・地区のアセスメントをしたことで・・・」

1) わかったこと・知ったこと

2) こんなことに役立ちそう/活かせると思う

3) こんなことをしたい！/こんなことをしたらどうか？（地区への提案）

\*ワーク終了後に一度集め、返却しますので、地区・お名前を記入してください。

地区/お名前

茅ヶ崎市社会福祉協議会

グループワークで使用したワークシート

### こんなことをしたい！ こんなことをしたらどうか？（地区への提案）

- ▶子ども、シニア、障がい者が一緒にいるのが当たり前の環境をつくりたい！
- ▶富士山をみながらコーヒーを飲もう会を継続する！
- ▶おとな食堂をやります！
- ▶高齢者が外出したいと思う場をつくりたい！（ラジオ体操やミニデイサロンなど）
- ▶井戸端会議ができる場所があれば繋がれる！

### わかったこと・知ったこと

- ▶1つのことを行うには、様々な専門知識や経験を持っている方たちと意見を出し合うことが必要。
- ▶自分の地域の宝や課題が分かった。

### こんなことに役立ちそう 活かせると思う

- ▶世代間交流することで色々な活動に繋がるのでは？
- ▶外の場所を活かしたサロンの提案

今年度の学習・地域アセスメントをしたことで、改めて自分の中に残ったことを振り返りました。

これからに向けて  
～地区の仲間と振り返る～



## おわりに・・・

今回の『地域アセスメント』は課題を探す作業ではありません。委員会を通して、今まで気がつかなかった地区の強み、新しい発見もあったのではないのでしょうか。

委員の気づきからもわかるとおり、地域活動は同じ思いをもった仲間が必要です。是非、地区の他の仲間とアセスメントを含めた話し合いや情報交換を活発に行ってみてください！

皆さんが活動する上で、お困りのことがありましたら、お気軽に市社協までご連絡ください。一緒に考えましょう！

＜お問い合わせ＞

☎ 0467(85)9650

茅ヶ崎市社会福祉協議会

